

中消防署 救急自動車更新(高規格救急自動車)

那賀消防組合では、令和4年11月1日、年々増加傾向にある救急事案に対応すべく、令和4年度事業として中消防署の救急車を更新いたしました。

旧高規格救急車は、平成27年式で、様々な救急事案に対応し、走行距離が275,000kmを超え、車両の維持や修理費等の金額が高額になっているほか、資器材の老朽化により、救命活動に支障を来す恐れが有ることから今回の更新となりました。

新しい高規格救急自動車は、従来と同じ車種で取り扱いが良く、最新の医療資機材を搭載しています。

またコロナ禍における感染症対策として、運転席と患者室を隔離するためのシートの設置や、人体に害のない濃度の小型オゾン発生装置により、常時車内の除染を実施しています。

患者室には360°監視の出来るカメラを設置し、常時録画をすることで救急活動の記録や、救急隊員が車内を離れた際の無人となった救急車を監視する等、防犯の面においても役立てています。

当消防組合では、更なる救命率の向上を図るとともに、きめ細かな消防行政サービスに取り組むことで、より一層、住民の皆様の信頼を得られるよう努めてまいります。



新しい救急車（なが中救急1）



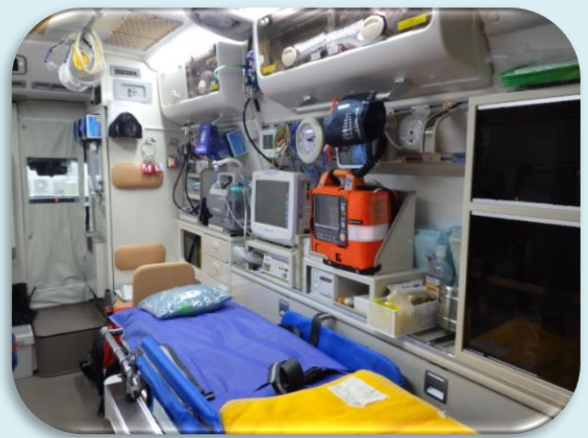
運転席と後部座席を隔離するシート



救急活動等を記録するカメラ(患者室)



小型オゾン発生装置



最新の医療機器

～納車式の様子～



消防長から中消防署長へ鍵の授与



機関員によるお清め

救急車の適正利用にご協力をお願い致します。